

救助院について（マカロニ工場）

マカロニ工場は、日本の蔵のような家であったため、クライエとも呼ばれていました。

ド・ロ神父が残した記録によると、この部屋には西洋から輸入された、マカロニやパスタを作るための製造機などが置かれていました。ただし、現在は、鋳鉄製のコンロと、ド・ロ神父が考案したパスタのレシピのみが残されています。マカロニ工場で作られたパスタは、長崎に住む外国人に好評で、彼らが主な顧客でした。